

2026年9月25日

自己点検報告書および改善案
改善すべき課題に対する改善報告書

2026年3月の自己点検において「×=要改善」と評価された項目のそれぞれについて、下記の通り改善に取り組んだことをご報告いたします。

1 2026年3月16日 実施の自己点検に基づく改善案とその報告

① 課題・改善を要する事項(向上・充実のための課題とその分析)
「教員の授業評価を実施しているか」 行動スキル評価のみで、授業の評価は実施されていない。 指導方針の共有とスキルアップのためにも、授業評価を行っていく必要がある。
② 対策(改善案)
2026年度春学期より、授業評価を実施する
① 「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)」初任・中堅に基づいた評価 ② 授業評価(生徒が各 STEP の目標に到達できる授業になっているか)
③ 改善報告
「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)」初任の内容をもとに、授業評価シートを作成。 授業評価1回目と、振り返りの面談を実施。教師がそれぞれ改善に向けた取り組みを実施した。改善の結果を見るための2回目の授業評価を学期内にできず、秋学期冒頭に実施予定。

2 2026年3月16日 実施の自己点検に基づく改善案とその報告

④ 課題・改善を要する事項(向上・充実のための課題とその分析)
「学生は、学期ごとの学習目標を達成できているか」 ・再試験合格率が低く、生徒もそれに危機意識をもっていないのではないか。
⑤ 対策(改善案)
・言語知識指導の強化→文法・語彙指導を強化、Monoxerによる自習の強化 ・生徒が目標意識を明確に持てるようにする → 学校の試験を重視する
③ 改善報告
Monoxerの進捗管理強化、居残り対応や確認テストの再テスト対応等、やらないまま・できないままにさせない取り組みを実施。 再試を一度限りの実施にせず、合格するまで繰り返すように運用を変更。1年生へは、学内の試験に合格することの重要性が浸透した。